

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茨木市天王一丁目計画	階数	地上5F
建設地	大阪府茨木市天王	構造	RC造
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	104人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2024年2月29日
敷地面積	1,847 m ²	作成者	株式会社GUIS 古澤知巳
建築面積	797 m ²	確認日	2024年3月11日
延床面積	3,528 m ²	確認者	関織絵



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	0	46
②建築物の取組み	~	~
③上記+②以外の	~	~
④上記+	~	~

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境	3.0
温熱環境	3.0
光・視環境	3.0
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性	2.5
耐用性	3.0
対応性	3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

建物外皮	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.2
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	3.0
非再生材料	2.8
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	3.0
地域環境	2.4
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
川沿いにある緑地帯や北側の自然に向かってバルコニーを設け、室内に緑を取り入れた快適な居住空間としている。	
Q1 室内環境 特になし	Q2 サービス性能 階高2.91m以上とし、ゆとりのある空間を確保している。
Q3 室外環境(敷地内) 防犯カメラを設置しセキュリティ面の向上に努めた。	
LR1 エネルギー 棟全体BEI0.98 LED照明を採用し、省エネに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 特になし
	LR3 敷地外環境 広告照明の計画なし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	(仮称)茨木市天王一丁目計画						
	建設地	大阪府茨木市天王						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容					スコア	評価
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価					3.0	3
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価					3.0	3
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価					2.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価					2.0	
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					3.0	3
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					3.2	3
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					3.0	○
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	-
その他								
		技術の名称				考慮事項		
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							